

## 第2章 地は円形? partⅢ

### ヨブ記 22:14

この聖句は直接には地のカタチについて言及してはいませんが、ヘブライ語の名詞「フーグ」が登場するわずか3箇所の中のひとつなのでここで合わせて検証したいと思います。



「・・天の丸天井を歩き来されるだけだ」

新共同訳

「・・神は天の回りを歩き回るだけだ」 新改訳

「・・彼は天の大空を歩まれるのだ」 口語訳

ヨブ記 22:14 (後半部分) 各単語の意味 (右から左に読みます)

yīṭ·hal·lāḳ.	ma·yim,	we·ḥūḡ
יֵ֣טְ הַלֵּ֣לְ לָ֑לַךְ	מַיִ֑ם	וְעַל־הַחֹ֑ף
He walks	of heaven	and [above] the circle
彼は歩く	天の	円の上

そして例によって「セフトアギンタ訳」のこの聖句を引用して「フーグ」の訳語を探して見ましょう。

[ νέφη ἀποκρυφή αὐτοῦ καὶ οὐχ ὄραθήσεται καὶ γῦρον οὐρανοῦ διαπορεύσεται ]

ここの[ γῦρον (ギロン) ] が「フーグ」に当てられたギリシャ語単語です。

これは part2 で示したイザヤ 40:22 のフーグの訳語と同一です。

しかしこの記述は「地」に関するものではなく「天」に関するものだとすることを改めて認識する必要があるでしょう。

よく言われる「地の円の上」という表現が「地」の形状が「円形」であるという意味なら、「天」も文字通り「円形」であるということになります。

「天」というヘブライ語は「シャーマーイム」と言いますが、「空」とも訳されます。

創世記 1:26, 28 に「天の鳥」という表現がありますが、「天」は神の住まいと解されているため、こうした場合、訳者は気を利かせて「シャーマーイム」を「空」と訳しています。実際、聖書中のこの語の使われ方を見ますと、「天」と「空」はそれほど明確な区別はつけていないようです。

ただ、創世記 1:6, 7 の「大空」と訳される語は別でこれは「ラキーア」という語で英訳では「firmament」と訳されます。

※この「大空」については「第3章 天蓋やドームのイメージについて」の中で詳しく扱います。

さて、さらに「フーグ」が「球体」だとすると「天」も「球体」であるということになります。そして「大空(ラキーア firmament)」も文字通り「球体」と主張していることになります。

しかし、おそらくこの辺りから、天に円形や球体状のものということから、地を覆うドームや「丸天井」などというイメージが生まれたのでしょう。

イザヤ 40:22 は「天の大空」について述べています。

「地の大空」ではありません。

「昔から教会や牧師などは「フーグ」は「丸」だけでなく「球体」も意味し得るとして、これらの聖句を紹介してきました。

Ball-Earth 信奉者の方が、これらの聖句を根拠に「地—球体」を謳うなら、「天の大空」も球体であることを説明する責任があるでしょう。